エコアクション21

環境経営レポート

運用期間：2024年1月～12月

新空間創造企業
株式会社　妹尾産業

2025年 2月 25日　発行

目　　次

１　環境経営方針 …… １

２　組織の概要 …… ２

３　認証・登録の対象範囲 …… ４

４　環境経営目標 …… ５

５　環境経営計画 …… ６

６　環境経営計画に基づき実施した取組内容 …… ７

6-1.エコアクション21実施体制 …… ７

6-2.2024年度に実施した環境への取組 …… ８

７　環境経営目標の実績 …… 10

８　環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組 …… 11

９　次年度の計画 …… 12

10　環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無 …… 14

11　代表者による全体評価の見直しの結果 …… 15

１.環境経営方針

＜環境理念＞

新しく家を建てるため、新しい道路を造るために、解体工事は建物を取り壊すことにより新たな空間を生み出します。

ただ建物を取り壊せばいいという事ではなく、近隣に迷惑をかけないように、施主にご満足いただけるように、細心の注意が必要です。

また、解体工事業を取り巻く環境の変化に乗り遅れないよう、安全・迅速・丁寧な作業が求められています。その要求に沿って、騒音・振動・粉塵クレームゼロを目指し、私たちは建造物解体工事のプロとして、日々誇りをもって工事を行っています。

＜環境行動指針＞

１．次の項目を重点項目として取り組みます。

（1）事業活動において、環境法規、条例、その他要求事項を遵守し、大気汚染、環境汚染の予防に努めます。

（2）環境配慮型の車両・建設機械・装置の導入と保全、さらには省燃費運転に努め、二酸化炭素排出量削減に取り組みます。

（3）事務所での節電、ごみ削減、節水に努めます。

（4）建築リサイクル法に則り、産業廃棄物のリサイクル率を高めることを徹底します。

（5）地域社会との調和を図り、顧客の要求品質に応えつつ、環境保全と美化に努めます。

（6）社員一人ひとりが高い環境意識を持つて事業活動に取り組めるような、適切な社員教育を行います。

2.　環境経営の継続的改善に努めます。

3.　当社の環境への取組は、毎年、環境経営レポートとしてとりまとめ、積極的に公表していきます。

制定日　2016年9月26日
改定日　2021年7月　1日

株式会社　妹尾産業

代表取締役　妹尾　晃

2.　組織の概要

1）　事業所名　　株式会社　妹尾産業
　代表者氏名　　代表取締役　妹尾　晃

2）　所在地　　本社　　〒813-0062　福岡県福岡市東区松島4丁目4番37号

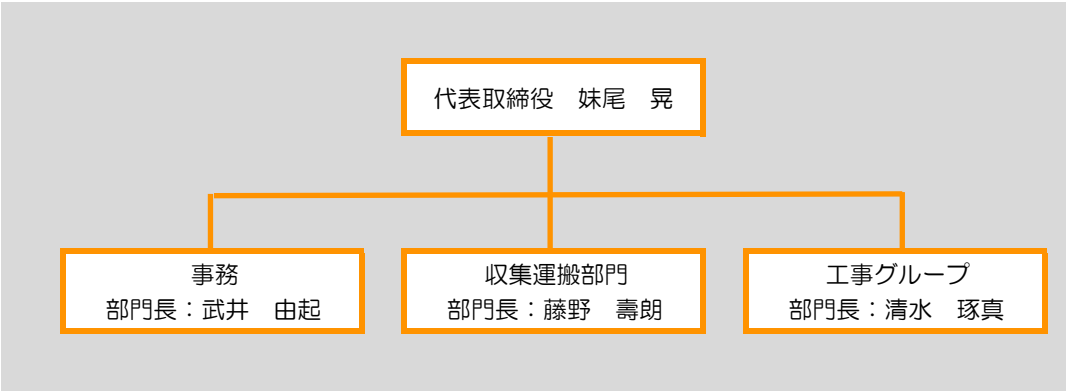
　　資材置場　　〒813-0002　福岡県福岡市東区大字下原1443番地

3）　環境管理責任者　清武　紘一郎
　担当者氏名　　丸山　昭一
　連絡先　　ＴＥＬ／　092-612-3007　　ＦＡＸ／　092-612-3008
　　e-mail　kiyotake.senoo@outlook.jp
　　e-mail　maruyama.senoo@outlook.jp

4）　事業の内容　　解体工事業、とび・土工工事業、産業廃棄物収集運搬業

5）　事業の規模

- 法人設立年月日　　2004年5月13日
- 法人格変更日　　2021 年７月１日
- 資本金　　2,000万円
- 売上高　　10億5千万円(2024年度実績)
- 従業員数　　31名
- 事業所の延床面積　　311m^2　（本社）
- 資材置場の敷地面積　　441m^2
- 法人格変更日　　１月～１２月
- 組織図



6）　許可の内容

6）－1　建設業

解体工事業、とび・土工・その他工事業　　福岡県知事許可（特－3）　第９９２５４号

6）－2　産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

都道府県及び政令都市	積替保管 有	積替保管 無	許可番号	許可の年月日及び有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	政令第2条第#号廃棄物	石綿含有産業廃棄物	コンクリート・陶磁器くず	廃石綿
福岡県（優）特別管理		●	許可番号：04000135087	2022/6/26 ～ 2029/6/26	●	●	●			●	●	●	●			●	●	●		●			●		●		
			許可番号：04050135087	2020/12/18 ～ 2029/12/17			●	●	●																		●
熊本県(優)特別管理		●	許可番号：04305135087	2021/12/14 ～ 2032/10/4	●	●				●	●	●	●				●	●		●			●		●	●	
			許可番号：04305135087	2021/1/8 ～ 2030/1/7																							●
佐賀県		●	許可番号：04101135087	2020/10/21 ～ 2029/10/20	●	●	●			●	●	●	●			●	●	●		●						●	

＜事業計画の概要＞

許可を受けた産業廃棄物（１１種類）及び特別管理産業廃棄物（福岡県4種類、熊本県1種類）について、事業者から運搬の委託を受けた場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき契約を締結し、排出業者からマニフェストの交付を受け、指定された許可処分業者の事業場に運搬する。

7）　施設等の状況（運搬車両の種類と台数）

10トンダンプ	2台
４トンダンプ	5台
４トンコンテナ専用車	2台
４トンキャブオーバー	3台
３トンダンプ	2台

8）　処理実績（令和6年度）

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
（ｉ）収集運搬	木くず	459.7
	コンクリートガラ	1,461.50
	アスファルトガラ	2.4
	廃石膏ボード	77.7
	混合廃棄物	17
	石綿含有廃棄物	39.9
	その他がれき	65.4
	廃プラスチック	37.3
収集運搬量合計		2160.9

3. 認証・登録の対象範囲

（1）認証・登録事業者　　株式会社　妹尾産業

（2）対象事業所　　本社、資材置場

（3）対象事業活動　　解体工事業、とび・土工工事業、産業廃棄物収集運搬業

KAITAI KING TV
JAPANESE DEMOLITION
SENOOSANGYO

新空間創造企業
株式会社　妹尾産業

福岡市近郊にて解体工事を中心に営業を行っております。
安心・安全をモットーに、お客様にご満足いただける仕事を心がけております！
建物の解体工事のことなら、お気軽にご相談ください！

NHK解体キングダムにて弊社の沖縄公設市場の現場が取り上げられました。

4．環境経営目標

・環境経営目標は、下記の中長期計画に基づき、2024年度を摘要しました。
・目標項目は以下の7項目11目標をサイト区分（事務所、現場、全社）して設定しました。
・基準年（2019年度実績値）に対して4%削減を目指しました。
・事業活動を通して取り組む本業目標としては、収集運搬車両に対して「車輌燃料コストの削減」を、工事車両に対して「工事車両の適切な整備による修理費用削減」を掲げ、全社をあげて取り組み環境経営を実践しました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2019年度 実績	単年度目標	中長期目標		
				2022年度（▲2%）	2023年度（▲3%）	2024年度（▲4%）	2025年度（▲5%）
			(2019年1月～12月)	(2022年1月～12月)	(2023年1月～12月)	(2024年1月～12月)	(2025年1月～12月)
1　二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2/百万円	942	923	914	904	895
		(kg - CO_2)	672,941	-	-	-	-
①　電気使用量の削減	全社	kWh/百万円	21.0	20.6	20.4	20.2	20.0
② ガソリン使用量の削減	事務所	L/百万円	15.7	15.4	15.3	15.1	14.9
③ 軽油使用量の削減	現場	L/百万円	325.8	319.3	316.0	312.7	309.5
2　車輌燃料コストの削減 (燃料コスト(ガソリン+軽油)／売上高×100)	全社	%	4.52	4.43	4.38	4.34	4.29
3 廃棄物排出量の削減							
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	680	666	660	653	646
② 産業廃棄物の リサイクル率向上	現場	%	90	90	90	90	90
4　水使用量の削減	全社	m^3	20.0	19.6	19.4	19.2	19.0
5　現場でのグリーン購入の推進 (RC-40使用現場/総現場数×100)	現場	%	92	90	89	88	87
6　工事車両の適切な整備による修理費用削減 (修理費用／売上高×100)	現場	%	1.00	0.98	0.97	0.96	0.95
7　工事関係情報発信 (ブログアクセス数増加)	全社	アクセス／月	2,500	2,875	3,000	3,125	3,250

備考）・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.371kg-CO2／kWh（九州電力（株）の2018年度調整後排出係数）を使用した。
・(　)内の数値は、基準年（2019年度実績値)に対する削減率を示す。
・サイト区分の全社とは、事務所＋現場を示す。
・化学物質は使用実績がないため目標から除外した。

5.環境経営計画

- 環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（取組項目）を設定して、全従業員で取り組みました。

1．二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	電気使用量の削減	事務所	①	エアコン設定温度を決め、実行する	武井	冷房期： 6月～ 9月 暖房期：12月～3月
			②	不要な照明の消灯	武井	通年
			③	花壇植栽による直射日光の遮断	武井	通年
			④	ロールスクリーンによる室温上昇の防止	武井	通年
			⑤	最終退社者（施錠者）の切忘れチェック	全員	通年
		現場	①	電動工具不使用時は発電機を停止する	権藤	通年
(2)	ガソリン使用量の削減	事務所	①	アイドリングストップを実施	小木曽	通年
			②	低燃費車の導入	小木曽	通年
(3)	軽油使用量の削減	現場	①	アイドリングストップを実施	北川	通年
			②	現場状況に対応した車種選定をする	藤野	通年
			③	収集運搬ルートの最適化	北川	通年

2．車両燃料コストの削減　　上記1.の(2)+(3)

3．廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	一般廃棄物排出量の削減	事務所	①	両面印刷の促進	武井	通年
			②	ファイル類等のリユースの促進	武井	通年
			③	紙マニフェストから電子マニフェストに切り替え	松田	通年
(2)	産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	①	廃棄物種類ごとに分別の徹底	寄川	通年
			②	最終処分場への持ち込みの削減	寄川	通年

4．水使用量の削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	水使用量の削減	事務所	①	植栽、観葉植物の季節に応じた水やりを実施	石田	通年
			②	観葉植物をこまめに屋外に出し雨水を補給	石田	通年
		現場	①	現場で雨水を利用する	近藤	通年
			②	粉塵飛散防止シートの利用促進	近藤	通年

5．現場でのグリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	現場でのグリーン購入の推進	現場	①	RC40、再生砂等の購入	北川	通年
			②	顧客へリサイクル製品をアピールする	大山	通年

6．工事車両の適切な整備による修理費用削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	工事車両の適切な整備による修理費用削減	現場	①	定期点検（自主点検）の徹底	権藤	通年
			②	月々の修理費用を計上する	杪山	通年

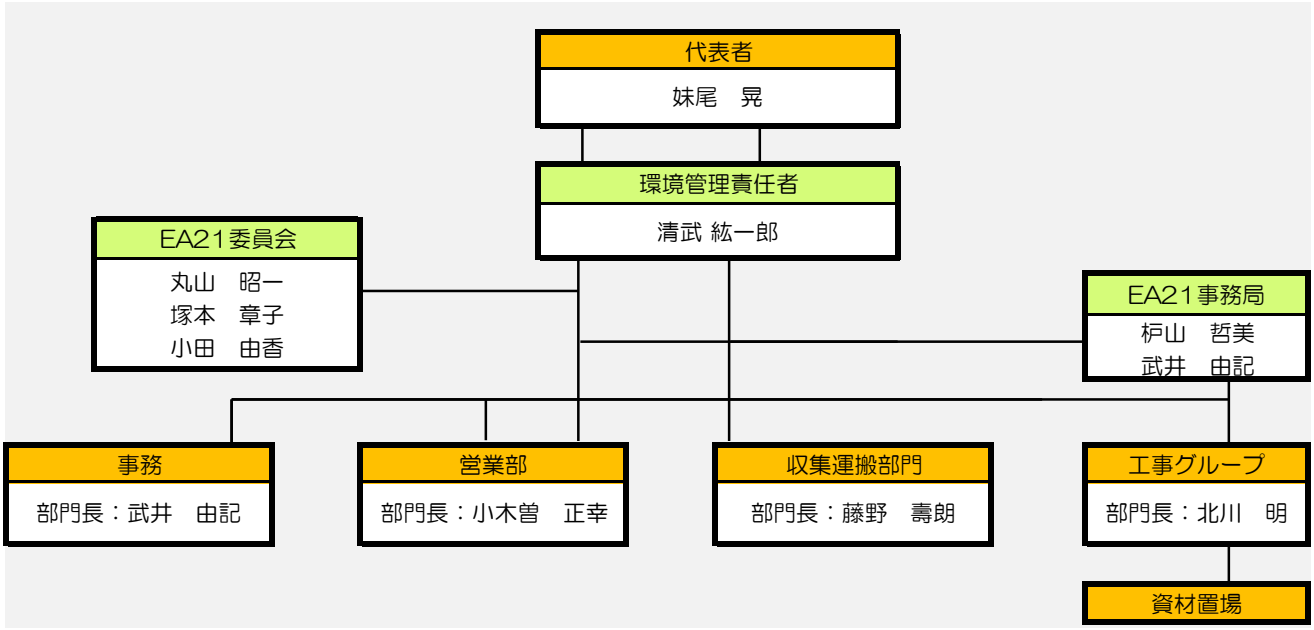
7．工事関係情報発信

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1	工事関係情報発信	全社	①	ホームページ情報の適切な更新	妹尾	通年
			②	ブログアクセス数の把握	妹尾	通年
			③	YouTubeチャンネルでの動画配信	妹尾	通年

6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

- 2024年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- 実施に当たっては、社内にエコアクション21を推進する次のような実施体制を構築して、全従業員が一丸となって取り組みました。

（1）エコアクション21実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局、EA21委員会を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金・情報）を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行して環境経営実績を向上させる ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する ・3カ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を評価・確認する ・上記の結果を代表者に報告する
EA21委員会	・3カ月に1回開催し、環境経営目標、環境経営計画の取組状況を審議する ・問題点の発生有無をチェックし、発生した場合は必要な是正処置を検討する
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成･維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を全部門に周知する ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を理解する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する

（2）2024年度に実施した環境への取組

・今年度は以下の取組をSDGｓ（17のゴール）と紐付けて実施しました。

1．二酸化炭素排出量の削減

（2．車輌燃料コストの削減、6．工事車両の適切な整備による修理費用削減）

（1）電気使用量の削減

・本社事務所の室温管理は、エアコン設定温度（冷房28℃、暖房20℃）を決めて実施しました。
・昼休み、不在時・不在カ所の照明の消灯を実施しました。

エアコンによる室温管理

昼休みの消灯

（2）軽油、ガソリン使用量の削減

・アイドリング・ストップに取り組んでいます。
・社有車は計画的に低燃費車への入れ替えを進めています。
・廃棄物の収集運搬ルートは燃料コストが最小になるよう最適化を心がけました。
・車両の定期点検（自主点検）を徹底し、修理費用の削減に取り組みました。

アイドリング・ストップ搭載車輌導入

車両定期点検の実施

3．廃棄物排出量の削減

・事務所ごみを減らすために両面印刷、裏紙利用、ファイル類のリユースを実施しています。
・事務所、現場共に、廃棄物の種類毎に分別を徹底しています。

裏紙利用の励行

事務所ごみの分別排出

4. 水使用量の削減

- 事務所内では節水シールを表示して節水に努めました。
- 観葉植物の水やりには、雨水を利用しています。
- 現場では、防塵対策としての散水量を減らすために、防塵ネットを使用しています。

節水シールによる節水活動実施中

節水型トイレによる節水活動

5. 現場でのグリーン購入の推進

- 事務用品等を購入する際には、グリーン購入対象商品がないかカタログなどで確認しています。
- 現場では再生資材（RC40、再生砂等）を積極的に使用しています。

事務所でのグリーン購入

現場でのグリーン購入(RC40)

7. 工事関係情報の発信

- 自社HPで解体工事関連の情報を発信しています。
- また、代表者を含めてスタッフのブログも公開し、事業活動の透明性に努めています。

自社HPによる情報発信

スタッフブログ公開中

YouTubeチャンネル配信中

7. 環境経営目標の実績

・2024年度における環境経営目標の達成状況は、以下のとおりです。
・設定した7項目11目標のうち、ガソリン、車輌燃料コスト、水使用量、修理費用を除き1項目7目標で環境経営目標を達成できました。
・水使用量の目標達成率が15%となったのは、年末の大掃除と自社工場の稼働の内製化が要因と考えられます。
・当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量は、総排出量で基準年実績を上回りましたが、売上あたりの原単位目標では目標達成率が123%で生産性が向上しており、その排出源である電気、軽油使用量も原単位目標を達成し、全体として良好な取組結果となっています。
・また、本業目標とした収集運搬車両に対する「工事車両の適切な整備による修理費用削減」については、わずかに目標を達成できませんでした。
・今後は環境意識を高め、今回目標が達成できなかった項目に対しては、従業員が一丸となって取組を

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年2019年度実績	2024年度（2024年1月～12月） 目標値（▲4%）	2024年度（2024年1月～12月） 実績値	目標達成率	目標達成判定
1　二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2/百万円	942	904	734	123%	◎
	二酸化炭素排出量（kg - CO_2）		672,941	-	771,025	-	-
①　電気使用量の削減	全社	kWh/百万円	21.0	20.2	19.9	102%	○
② ガソリン使用量の削減	事務所	L/百万円	15.7	15.1	18.4	82%	△
③ 軽油使用量の削減	現場	L/百万円	325.8	312.7	262.6	119%	○
2　車輌燃料コストの削減（燃料コスト(ガソリン+軽油)／売上高×100）	全社	%	4.52	4.34	4.92	88%	△
3 廃棄物排出量の削減							
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	680	653	491	133%	◎
② 産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	%	90	90	91.9	102%	○
4 水使用量の削減	全社	m^3	20.0	19.2	129.0	15%	×
5 現場でのグリーン購入の推進（RC-40使用現場/総現場数×100）	現場	%	92	88	100	114%	○
6　工事車両の適切な整備による修理費用削減（修理費用／売上高×100）	現場	%	1.00	0.96	1.09	88%	△
7　工事関係情報発信（ブログアクセス数増加）	全社	アクセス／月	2,500	3,125	3,385	108%	○

備考）・目標達成率の計算　　削減目標の場合：目標÷実績×100　増加目標の場合：実績÷目標×100
・目標達成判定区分　　◎：目標達成率120%以上、○：100%以上120%未満、△：80%以上100%未満、×：80%未満、－：判定不可

8.環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組

・環境経営計画で定めた取組項目については、通年を通して取組がやや不十分な項目も散見されますが、全体としては概ね良好な結果となっていました。
・次年度は、今年度実施出来なかった取組項目を中心に、従業員への環境意識付けを行っていきます。

1.二酸化炭素排出量の削減、2.車両燃料コストの削減

取組目標	サイト区分	取組項目	実施状況（四半期）				この1年間の評価	次年度の取組内容
			1	2	3	4		
電気使用量の削減	事務所	①エアコンの設定温度を決め実行する	○	○	○	○	・エアコンの温度設定を決め、実行に移す事が出来ており、また換気による室温調整も実施した。 ・消灯については、業務多忙のため時間外勤務が多く発生したが、不要な照明の消灯を実施した。 ・電動工具を不使用時に停止を意識的に実施できている。	・引き続き節電、エコを意識しエアコンの温度調整、未使用照明の停止を実施する。 ・20時での消灯の実施を推進する。
		②不用な照明の消灯	○	○	○	○		
		③花壇植栽による直射日光の遮断	○	○	○	○		
	現場	①電動工具不使用時は発電機を停止	○	○	○	○		・さらなる節電の意識向上
ガソリン使用量の削減	事務所	①アイドリングストップの実施	○	○	○	○	・アイドリングストップ搭載の車両を5台導入した。	・引き続きエコカーへの切り替え導入を行いたい。
		②低燃費車の導入	○	○	○	○		
軽油使用量の削減	現場	①アイドリングストップの実施	△	△	△	△	・重機、ダンプの適切な選定はもともとできている。	・廃棄物の搬入先は現場からの距離も考慮し処分場を選定する。
		②現場状況に対応した車種選定をする	○	○	○	○		
		③収集運搬ルートの最適化	○	○	○	○		

3.廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	取組項目	実施状況（四半期）				この1年間の評価	次年度の取組内容
			1	2	3	4		
一般廃棄物排出量の削減	事務所	①両面印刷の促進	△	△	△	△	・資料作成・業務連絡の電子化によりペーパーレス化を促進できた。 ・また、電子契約の促進も行た。	・紙媒体から電子化へのさらなる推進を行う。 ・社内資料は両面印刷を行い、裏紙の使用を促進する。
		②ファイル類等のリユースの促進	△	△	△	△		
		③紙マニフェストから電子マニフェストに切り替える	○	○	○	○		
産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	①廃棄物種類ごとに分別の徹底	○	○	○	○	・分別解体が徹底されてきた。	・引き続き分別解体を実施し、リユースを意識し環境に配慮していきたい。
		②最終処分場への持ち込みの削減	○	○	○	○		

4.水使用量の削減

取組目標	サイト区分	取組項目	実施状況（四半期）				この1年間の評価	次年度の取組内容
			1	2	3	4		
水使用量の削減	事務所	①植栽、観葉植物の季節に応じた水やりを実施	○	○	○	○	・大掃除の際に多量の水を使用した。また、工場の稼働により水道の利用量が増加した。	・2024年度よりも低い数値になるよう節水を心掛ける。
		②観葉植物をこまめに屋外に出し雨水を補給	○	○	○	○		
	現場	①現場で雨水を利用する	△	△	△	△	・雨水の安定使用が困難。	・環境に配慮し適切な設備を導入していく。
		②粉塵飛散防止シートの利用促進	○	○	○	○		

5.現場におけるグリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	取組項目	実施状況（四半期）				この1年間の評価	次年度の取組内容
			1	2	3	4		
現場におけるグリーン購入の推進	現場	RC-40等再生材の購入	△	△	○	○	・再生材の使用意識が浸透し、ある程度定着しつつある。 ・さらなる周知徹底が必要。	・引き続き福岡県リサイクル認定品の購入をする。
		顧客へリサイクル製品をアピールする	△	△	○	○		

6.工事車両の適切な整備による修理費用削減

取組目標	サイト区分	取組項目	実施状況（四半期）				この1年間の評価	次年度の取組内容
			1	2	3	4		
工事車両の適切な整備による修理費用削減	現場	定期点検（自主点検）の徹底	○	○	○	○	・年度後半は点検シートの活用、定期点検の実施がよい。	・定期点検で不具合を見逃さない。
	事務所	月々の修繕費用を計上する	△	△	△	○	・実施されているが不定期	・スケジュール作成、実行をリチェックする。

7.工事関係情報発信

取組目標	サイト区分	取組項目	実施状況（四半期）				この1年間の評価	次年度の取組内容
			1	2	3	4		
工事関係情報発信	事務所	ホームページ情報の適切な更新	○	○	○	○	・良く実施している	・引き続き実施していく。
		ブログアクセス数の把握	○	○	○	○		

備考）　実施状況判定区分　◎：よく実施できている（定着）　○：実施できている、　△：概ね実施できている　×：実施出来ていない　－：判定不可

9. 次年度の計画

9-1 環境経営目標

・今年度の環境経営目標の達成状況は、概して良好な結果となったため、次年度の目標は当初目標通り、中長期目標の2025年度を適用します。

・なお、水使用量については、目標値と実績値の乖離が大きかったため、2025年度は2024年度実績値を基準として1%削減を目標としました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年 2019年度 実績	単年度目標	中長期目標		
				2022年度（▲2%）	2023年度（▲3%）	2024年度（▲4%）	2025年度（▲5%）
			(2019年1月～12月)	(2022年1月～12月)	(2023年1月～12月)	(2024年1月～12月)	(2025年1月～12月)
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2/百万円	942	923	914	904	895
	二酸化炭素排出量（kg - CO_2）		672,941	-	-	-	-
① 電気使用量の削減	全社	kWh/百万円	21.0	20.6	20.4	20.2	20.0
② ガソリン使用量の削減	事務所	L/百万円	15.7	15.4	15.3	15.1	14.9
③ 軽油使用量の削減	現場	L/百万円	325.8	319.3	316.0	312.7	309.5
2 車輌燃料コストの削減 (燃料コスト(ガソリン+軽油)／売上高×100)	全社	%	4.52	4.43	4.38	4.34	4.29
3 廃棄物排出量の削減							
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	680	666	660	653	646
② 産業廃棄物の リサイクル率向上	現場	%	90	90	90	90	90
4 水使用量の削減	全社	m^3	129.0	—	—	—	128.0
5 現場でのグリーン購入の推進 (RC-40使用現場/総現場数×100)	現場	%	92	90	89	88	87
6 工事車両の適切な整備による修理費用削減 （修理費用／売上高×100）	現場	%	1.00	0.98	0.97	0.96	0.95
7 工事関係情報発信 （ブログアクセス数増加）	全社	アクセス／月	2,500	2,875	3,000	3,125	3,250

備考）・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.371kg-CO_2／kWh（九州電力（株）、2018年度調整後排出係数）を使用した。
・( )内の数値は、基準年（2019年度実績値)に対する削減率を示す。
・サイト区分の全社とは、事務所＋現場を示す。
・化学物質は使用実績がないため目標から除外した。
・基準年の水使用量は2024年度実績値を示し、2025年度は1%削減目標とした。

9-2 環境経営計画

・次年度の環境経営計画については、本年度の環境への取組が概ね良好であったことから、この取組を継続することとし
　ます。ただし、一部取組不良項目については、重点項目としてその取組の周知・徹底を図ります。

青色は重点管理項目を示す

1．二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	電気使用量の削減	事務所	①	エアコン設定温度を決め、実行する	武井	冷房期：6月～9月 暖房期：12月～3月
			②	不要な照明の消灯	武井	通年
			③	花壇植栽による直射日光の遮断	武井	通年
			④	ロールスクリーンによる室温上昇の防止	小木曽	通年
			⑤	最終退社者（施錠者）の切忘れチェック	全員	通年
		現場	①	電動工具不使用時は発電機を停止する	権藤	通年
(2)	ガソリン使用量の削減	事務所	①	アイドリングストップを実施	枦山	通年
			②	低燃費車の導入	妹尾	通年
(3)	軽油使用量の削減	現場	①	アイドリングストップを実施	清水	通年
			②	現場状況に対応した車種選定をする	藤野	通年
			③	収集運搬ルートの最適化	藤野	通年

2．車両燃料コストの削減

上記1.の(2)+(3)

3．廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	一般廃棄物排出量の削減	事務所	①	両面印刷の促進	武井	通年
			②	ファイル類等のリユースの促進	武井	通年
			③	紙マニフェストから電子マニフェストに切り替え	松田	通年
(2)	産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	①	廃棄物種類ごとに分別の徹底	寄川	通年
			②	最終処分場への持ち込みの削減	寄川	通年

4．水使用量の削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	水使用量の削減	事務所	①	植栽、観葉植物の季節に応じた水やりを実施	石田	通年
			②	観葉植物をこまめに屋外に出し雨水を補給	石田	通年
		現場	①	現場で雨水を利用する	近藤	通年
			②	粉塵飛散防止シートの利用促進	近藤	通年

5．現場でのグリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	現場でのグリーン購入の推進	現場	①	RC40、再生砂等の購入	清水	通年
			②	顧客へリサイクル製品をアピールする	大山	通年

6．工事車両の適切な整備による修理費用削減

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1)	工事車両の適切な整備による修理費用削減	現場	①	定期点検（自主点検）の徹底	権藤	通年
			②	月々の修理費用を計上する	枦山	通年

7．工事関係情報発信

取組目標		サイト区分	取組項目		担当者	スケジュール
(1	工事関係情報発信	全社	①	ホームページ情報の適切な更新	妹尾	通年
			②	ブログアクセス数の把握	妹尾	通年
			③	YouTubeチャンネルでの動画配信	妹尾	通年

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

・当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は次のとおりです。
・2025年1月31日に環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また過去3年間、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理 産業廃棄物収集運搬業上の法令遵守	○
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	○
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	○
石綿関連法 （労働安全衛生法　石綿障害予防規則等）	石綿の撤去作業	○
大気汚染防止法	アスベストの排出を伴う工事	○
道路交通法	過積載をなくす	○
フロン排出抑制法	業務用の空調機の簡易点検	○
自動車リサイクル法	社有車、営業車等の買い替え時	—
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン等の処分時	—
オフロード法	建設重機の使用	○

備考）　○：遵守　　×：不遵守　　—：該当なし

11．代表者による全体評価と見直しの結果

・2024年度におけるエコアクション21による取組状況の全体評価と見直し結果は、以下のとおりです。

環境への取組	この1年間の評価
1.二酸化炭素排出量の削減	・売上あたりの排出量は目標達成率123%でした。 ・大型重機を導入することにより工期短縮（軽油使用量の削減）が行え、結果として二酸化炭素削減に貢献できました。 ・今後も引き続き目標を達成できるよう、取り組んでいきます。
2.車両燃料コストの削減	・売上あたりの車輌燃料（ガソリン＋軽油）コストは目標達成率82%でした。 ・しかし、ガソリン使用量が多くなっており、炭素エネルギーも高騰しているため、引き続き低燃費車の導入検討やアイドリング・ストップといった対策を講じていきます。
3.廃棄物排出量の削減	・一般廃棄物排出量は目標達成率133%で、目標を達成できました。段ボールやシュレッダー紙等は、無料回収業者へ運搬を継続し、工事現場から出た一般廃棄物も同様に処理してまいります。 ・産業廃棄物のリサイクル率は97.5%で高い水準にあり、最寄りの処分場の選定も行えており、燃料使用量も削減できています。 ・今後も、現場でのより一層の分別解体の徹底を続けていきます。
4.水使用量の削減	・大掃除や自社工場の稼働の内製化により、事務所での水使用量が増加しました。 ・また、大型物件も多くなり、解体現場の水使用量が増加しました。 ・次年度は水使用量が結果的に目標を大きくオーバーしていたので実態にあった目標設定が必要です。
5.現場でのグリーン購入の推進	・今年度も特別の指示がない限り、現場におけるリサイクル品の使用を推進した結果、目標を達成できました。 ・今後も引き続きリサイクル材を使用していきます。
6.工事車両の適切な整備による修理費用の削減	・今年度は売上高換算の修理費の目標は達成できまんでした（目標達成率88%） ・例年に比べ酷暑で夏場に修理の頻度が増したことが要因になりました。 ・今後も始業前点検を実行していきます。
7.工事関係情報発信	・営業ブログを開設し、社長発信のブログと合わせてより多くの情報を発信する体制になりました。この結果、ブログアクセス数は目標を達成できました（目標達成率108%）。 ・今後は、反響が大きかったYouTubeでの動画配信の精度・密度を増し、積極的に公開してまいります。
見直し結果	・今年度も、環境への取組は適切に実施され、目標達成状況も良好な結果となりました。エコアクション２１に関する意識を社内で高めていく施策を検討していきます。 ・今後も、計画の基本的事項（環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制）は継続するものとしますが、水使用量については実態に合わせて目標を再設定していきます。また、取り組み不良項目は重点項目に位置付け取組を強化していきます。